

# 先達役「路肩危険でーす」

## 今治明德短大の歩き遍路体験学習

### 香園寺で全員無事結願

今治明德短大の今年度「歩き遍路体験学習」は九月十四日、第六十一番香園寺で結願した。十日朝、第四十四番大寶寺を出発した学生十名・教職員五名の一行は八丁坂を越え、岩屋寺へ。三坂峠を二気に入くんだり浄瑠璃寺までが初日の行程。二日目は長

丁場、松山市内の七カ寺を経て旧北条市内泊。三日目は今治市内七カ寺、最終日は旧東予市から横峰寺を目指し、湯浪を経て午後一時過ぎ到着。

この日の先達役は野間聖宣(きよのぶ)くん。「右、路肩危険でーす」「この先、急な坂道。小石で滑りまーす」、大きな声で後続の注意を促しながら急坂を下った。九月中

句とは思えぬ残暑にもかかわらず午後四時半、全員無事に香園寺着。学生が寺の縁起などを紹介して結願。

村上明香(あきか)さんは「遍路がこれほど大変とは思っていなかった。しばらくは歩きたくない。しかし、ご飯は美味しかった」と五日間を振り返った。秋山大征(ひろゆき)くんは「初日に足を痛めたが、最後まで歩き通せた。何を得たのか、今は分からないが、いい経験になったことは確か」と胸を張った。

同学の「歩き遍路体験学習」は平成十三年にスタート、八年掛けて全周する予定であったが初回コースが今年度とほぼ重複するため、平成二十一年に満願する。



香園寺に向け坂を下る明短生の一行